

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公表番号】特表2001-509029(P2001-509029A)

【公表日】平成13年7月10日(2001.7.10)

【出願番号】特願平10-534603

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 Q 1/68

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 Q 1/68

C 1 2 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月19日(2005.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年1月19日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第534603号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 メリーランド 20850, ロックビル, キー
ウエスト アベニュー 9410

名称 ヒューマン ジノーム サイエンシーズ, インコーポレイテッド

住所 ニュージーランド国 オークランド 1001, シモンズ
ストリート 58, レベル 7, ユニサービシズ ハウス

名称 オークランド ユニサービシズ リミテッド

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. 以下からなる群より選択されるポリペプチドをコードするヌクレオチド配列に少なくとも95%同一であるヌクレオチド配列を含む単離された核酸分子：

- (a) 配列番号2に示されるポリペプチド；
- (b) 配列番号4に示されるポリペプチド；
- (c) 配列番号4の残基16~172として示される成熟ポリペプチド；
- (d) 配列番号6に示されるポリペプチド；
- (e) 配列番号6の残基16~88として示される成熟ポリペプチド；
- (f) 配列番号6の残基23~88として示される成熟ポリペプチド；
- (g) 配列番号8に示されるポリペプチド；
- (h) 配列番号10に示されるポリペプチド；
- (i) 配列番号12に示されるポリペプチド；
- (j) 配列番号14に示されるポリペプチド；
- (k) 配列番号16に示されるポリペプチド；
- (l) 配列番号18に示されるポリペプチド；
- (m) 配列番号20に示されるポリペプチド；
- (n) 配列番号20の残基16~528として示される成熟ポリペプチド；
- (o) 配列番号22に示されるポリペプチド；および
- (p) 配列番号24に示されるポリペプチド。

2. 配列番号1、配列番号3、配列番号5、配列番号7、配列番号9、配列番号11、配列番号13、配列番号15、配列番号17、配列番号19、配列番号21、および配列番号23からなる群より選択されるヌクレオチド配列に、少なくとも95%同一であるヌクレオチド配列を含む、請求項1に記載の核酸分子。

3. 配列番号Xのヌクレオチド配列の、少なくとも約500の連続するヌクレオチドの配列に少なくとも95%同一であるヌクレオチド配列を含む、請求項3に記載の単離された核酸分子。

4. 請求項1に記載の核酸分子にストリンジントなハイブリダイゼーション条件下でハイブリダイズする単離された核酸分子であって、該ハイブリダイズする核酸分子が、ストリンジントなハイブリダイゼーション条件下で、A残基のみまたはT残基のみからなるヌクレオチド配列を有する核酸分子にハイブリダイズしない、単離された核酸分子。

5. ヒトcDNAクローンによってコードされるヌクレオチド配列の少なくとも500の連続するヌクレオチドの配列に、少なくとも95%同一であるヌクレオチド配列を含む、請求項6に記載の単離された核酸分子。

6. 配列番号Yのアミノ酸配列の少なくとも約10の連続するアミノ酸の配列に同一であるアミノ酸配列を含む、単離されたポリペプチドであって、ここで、Yは、表1に規定されるような任意の整数である、単離されたポリペプチド。

7. 前記配列番号Yの完全アミノ酸配列に少なくとも95%同一であるアミノ酸配列を含む、請求項6に記載の単離されたポリペプチド。

8. 単離されたポリペプチドであって、表1のcDNAクローン識別名によって同定される、ヒトcDNAクローンによりコードされる分泌タンパク質の完全アミノ酸配列の、少なくとも約10の連続するアミノ酸の配列に同一なアミノ酸配列を含み、そして表1の前記cDNAクローンについて示されたATCC受託番号を有する寄託物に含まれる、ポリペプチド。

9. 請求項1に記載の単離された核酸分子を、ベクターに挿入する工程を包含する、組換えベクターを作製する方法。

10. 請求項9に記載の方法によって產生される組換えベクター。

1 1. 請求項 1 0 に記載のベクターを宿主細胞に導入する工程を包含する、組換え宿主細胞を作製する方法。

1 2. 請求項 1 1 に記載の方法によって產生される、組換え宿主細胞。

1 3. 単離されたポリペプチドを作製する方法であって、該ポリペプチドが発現される条件下で、請求項 1 2 に記載の組換え宿主細胞を培養する工程、および該ポリペプチドを回収する工程を包含する、方法。

1 4. 請求項 1 3 に記載の方法によって產生される、単離されたポリペプチド。

1 5. 請求項 6 に記載のポリペプチドに特異的に結合し得る、単離された抗体。

1 6. 異種ポリヌクレオチドに融合された請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のポリヌクレオチド。

1 7. 請求項 1 6 に記載のポリヌクレオチドであって、前記異種ポリヌクレオチドが、異種ポリペプチドをコードする、ポリヌクレオチド。

1 8. 請求項 1 7 に記載のポリヌクレオチドであって、前記異種ポリペプチドが、前記ポリヌクレオチドによりコードされるポリペプチドに融合される、ポリヌクレオチド。

1 9. 請求項 1 0 に記載のベクターであって、前記ポリヌクレオチドが、制御配列に作動可能に連結される、ベクター。

2 0. 請求項 1 2 に記載の宿主細胞であって、該細胞が、原核生物細胞、真核生物細胞、動物細胞、哺乳動物細胞、昆虫細胞、植物細胞、真菌細胞、COS細胞、CHO細胞、またはE. coli細胞である、宿主細胞。

21. 請求項6～8、または14のいずれか1項に記載のポリペプチドであって、該ポリペプチドが、異種ポリペプチドに融合される、ポリペプチド。

22. 請求項6～8、14または21のいずれか1項に記載のポリペプチドであって、該ポリペプチドが、N末端メチオニンを欠失している、ポリペプチド。

23. 請求項15に記載の抗体であって、該抗体が、ポリクローナル、モノクローナル、キメラ、一本鎖、ヒト抗体、ヒト化抗体、またはFabフラグメントである、抗体。

24. 請求項1～5または16～18のいずれか1項に記載のポリヌクレオチド、およびキャリアを含む組成物。

25. 請求項6～8、14、または21～22のいずれか1項に記載のポリペプチド、およびキャリアを含む組成物。

26. 請求項15または23に記載の抗体、およびキャリアを含む組成物。

27. 医薬の調製における請求項1～5または16～18のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドの使用。

28. 医薬の調製における請求項6～8、14または21～22のいずれか1項に記載のポリペプチドの使用。

29. 医薬の調製における請求項15または23の抗体の使用。